

(「京都発革新的医療研究開発助成事業」助成金事業)

「介護予防としての声と嚥下のトレーニング」

「最近声がかすれる」「声が出にくくなってカラオケに行けへん」「声は小さくなるし、ムセるし、ほんま年は取りたくない」など、一見健康に見える高齢者からそんな声を聞かれたことはありませんか？
介護予防の現場ではよく聞かれる言葉だそうです。

今回、そのようなお悩みへのアプローチとして、おそらく日本初！の「介護予防としての声と嚥下のトレーニング」という内容で京都府立医科大学耳鼻咽喉科の医師と音声治療を専門にされている言語聴覚士から講演・実技をしていただきます。午前の部は ST を対象に耳鼻科医の平野先生と杉山先生から声と嚥下について専門的な講義をしていただき、午後は ST と介護予防等に関心のある専門多職種の方々を対象に、声と嚥下について分かりやすく講義していただいた後に、金子 ST から具体的なトレーニング方法の実演・実技をしていただきます。

介護予防だけではなく、日々の臨床に大変役立つ内容です。

午後の部については、お知り合いの地域包括支援センターや通所リハビリ・通所介護等の職員の方々をお誘いの上、ご参加下さい。

<日時・場所> 12月2日(日) 京都市地域リハビリテーション推進センター(四条御前)

<プログラム>

9 : 30	午前の部(言語聴覚士) 受付開始
10 : 00	言語聴覚士向け講演会「声と嚥下について」 京都府立医科大学耳鼻咽喉科 平野 滋先生 杉山庸一郎先生
12 : 00	昼食休憩
12 : 45	午後の部(専門多職種) 受付開始
13 : 10	言語聴覚士&介護予防等に関心のある専門多職種向け 「声と嚥下の話」と「声のトレーニング」実演実技 京都府立医科大学耳鼻咽喉科 平野 滋先生 杉山庸一郎先生 金子真美先生(言語聴覚士)
14 : 40	終了予定

<参加費> 無料(訓練教材のお土産つきです!)

<定員> 80名 定員になり次第締め切らせていただきます。

<申し込み・締め切り> メールアドレス：kyotost2017@gmail.com 公開講座担当者まで
氏名・職種・所属・府士会員の有無・参加方法(午前のみ・午後のみ・1日)をお書き下さい。

締め切り：11月26日(月)